

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2025年 7 月 13 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所 氏 名 (代表者名)	〒 067-0064
	江別市上江別441ー5
	株式会社ホンダモビリティ北海道
	代表取締役社長 齋藤 雅義

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項の規定により、環境保全行動
第23条第3項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日						
事業 の 規 模	従業員数	341		人	原油換算した	740.5		k l
	使用床面積	132165		m ²	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	18	事業所	自動車使用台数		360		台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン		N ₂ O		HFC	
		非エネルギー起源CO ₂	PFC		SF ₆		NF ₃	
報告書の担当部署		担当部署名						
		担当者氏名						
		電話/FAX						
		電子メールアドレス						
計画書提出根拠		条例第13条（環境保全行動計画）				☒ 第1項 ☐ 第3項		
		条例第23条（自動車使用管理計画）				☒ 第1項 ☐ 第2項		
計画期間		2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日						
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり						
備 考								

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

【報告期間】

2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	1140 t/Co2	1 %	1290 t/Co2	▲ 13 %	×	1340 t/Co2	▲ 18 %	×	1380 t/Co2	▲ 21 %	×
水使用料の削減	13947 m3	1 %	15577 m3	▲ 12 %	×	15555 m3	▲ 12 %	×	16096 m3	▲ 15 %	×
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	469 t/Co2	1 %	444 t/Co2	5 %	○	537 t/Co2	▲ 14 %	×	448 t/Co2	4 %	○
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	×	事業活動時間の増加
水使用料の削減	×	自動洗車機の使用量の増加
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	ハイブリッド車の増加